

いなみ町

議会だより

No.103
2024.10

令和6年 第3回定例会

議案審議	P2	一般質問(4名が登壇) ...	P3～P6
委員会報告	P7	研修報告	P8

印南祭り(宵宮)

議案審議

9月定例会は12日に開会。
議案14件、報告1件、発委1件。議案はすべて可決しました。
また、令和5年度決算認定8件は、決算審査特別委員会に付託することを決定し、19日に閉会しました。



議案に対する各議員の賛否

○= 賛成 ×= 反対

種類	議案番号	議案内容	黒井	木村	岡本	谷	中島	片山	古川	杉谷	玉置	榎本	前田	堀口
条例	42	印南町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
予算	51	令和6年度印南町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	52	令和6年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	53	令和6年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	54	令和6年度印南町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	55	令和6年度印南町水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
他	43	権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	44	字の区域変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約	45	工事請負契約の変更について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	46	工事請負契約の変更について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	47	工事請負契約の変更について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	48	工事請負契約について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	49	工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	50	工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告	2	令和5年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
発委	1	国土強靱化の強力かつ計画的な推進を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は裁決に加わりません

防災について

質問 先月、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表されました。

これに伴い、公共交通機関の運休や海水浴場等が閉鎖されました。特に、発表された期間が連休及びお盆と重なったことから、全国的に大きな影響が生じ経済的にも大きな損失となりました。

当地域においては、一時、スーパー、コンビニ等から飲料水がなくなるということもあり、改めて大規模災害に対する危機管理、心構えを再認識する機会にもなりました。

大規模災害時において、水と電気の確保、復旧は非常に重要です。特に飲料水の確保については、行政分野の役割が大きいのと思います。各地域により水源が違うので、状況も異なると思

います。印南町における飲料水の確保についてはどのような計画により対策を行いますか。

答弁 総務課長

国の中央防災会議ですが、家庭内備蓄は1週間以上、発災後3日目までは家庭等の備蓄と自治体で対応し、4日目からは国からのプッシュ型支援による対応で示されています。県は、3日間は県外からの支援がなくても自立できるよう備蓄割合を住民、町、県、それぞれ1:1:1と示しています。

これらを基本とし、町の飲料水確保は1人当たり1日2Lを目安として現在、飲料水1万6,000Lを町内の備蓄倉庫に備蓄。必要とされる飲料水は人口8,000人×3日分×2Lで4万8,000Lと想定し、

不足分3万2,000Lについては、応急給水及び株式会社ナカエ様との災害協定で補う計画です。

答弁 生活環境課長

浄水場等での飲料水の確保、必要に応じ仮設給水所の設置並びに水道施設の被害調査及び災害対策を行うこと。実際に仮設給水を行うこととなった場合には、規模や箇所、給水需要の把握、資機材の確保、給水作業従事者の確保、必要に応じ関係機関への応援要請、それに伴う受援体制の構築、各種情報の収集・報告・共有などが必要と考えています。

質問 稲原地区には尻掛川池があります。活用を考えた場合、池のその堰堤の改修はぜひとも必要だと思

ますが、その辺の考え方についてご説明いただけますか。

答弁 建設課長

防災重点ため池の機能としてこれから改修が必要かどうか、今年度、計画概要書を作成する計画です。これがその飲料水の確保とどうつながるかというところは、まだ、未定ですが、防災重点ため池という観点からは、ため池の改修を計画しています。計画概要書の中で、計画をこれからしていくというところです。



米不足で町民の方から 相談は受けていないか

質問 米を買いに行っても、店の店頭にありません。この米不足の原因は政府の米の減反政策にあります。

町民の方から役場に対して相談や問い合わせはありませんか。

答弁 企画産業課長

企画産業課をはじめ関係各課、社会福祉協議会、日高管内の消費者相談窓口である日高地域消費者生活相談窓口に確認しましたが、相談はありませんでした。



厳しい暑さから町民の 命を守る取り組みを

質問 8月2日、気象庁が6月～8月の平均気温が昨年と比べ1898年の統計開始以来最も暑かった、と発表しました。

町が管理する施設で涼しい場所を提供する、スペースを開放する、という手立ては取っていませんか。取っていないければ検討が必要ではないですか。

答弁 住民福祉課長

「クーリングシエルト」の指定は、現在、行っていません。

今後、民間施設等での設定の可能性も含め、関係各所と検討していきたいです。



榎本 一平
議員

ピーファス 問題を問う

質問 全国各地で水道、河川などから発がん性物質が指摘されているピーファスと呼ばれる化学物質が検出され問題になっています。

ピーファスとは「有機フッ素化合物」の総称で、フライパンのコーティングなど身近に存在します。

当町では水源にピーファスが発生する条件や環境はありませんか。

答弁 生活環境課長

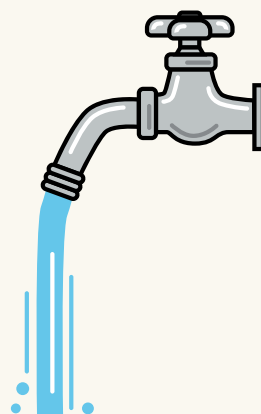
現在、印南浄水場の水源、他の浄水場の水源において、近隣周辺に汚染が懸念される施設等はありません。

質問 水道水などのピーファスの水質検査についての考え

はありませんか。

答弁 生活環境課長

水道水は令和3年度から各上水道系統ごとに年1回のピーファス検査をしており、これまで検出されていません。



稲原防災センターの 洋式トイレへの改修について



谷 章資
議員

質問 地震、台風等、災害

の発生が他人事ではなく自分達のまわりでいつ起こるかわかりません。

私は先日、能登方面の地震による被災地を見てまわり復興は、まだまだ道半ばですが、仮設トイレ、洗面の整備、徹底に感心しました。

そこで、稲原防災センターが避難場所として指定されているならば必要不可欠な水、食料は当然としてトイレ問題が起ります。周知のとおり、防災センターのトイレは和式で高齢化が進む印南町では、今後利用困難な方が必然的に出てきます。災害時における仮設洋式トイレの整備も当然必要となります。

トイレ改修は地域住民の声でもあり、今進めていく事が将来の為に、必要不可欠

欠なのです。

早急に対策を検討して頂きたくお願い致します。

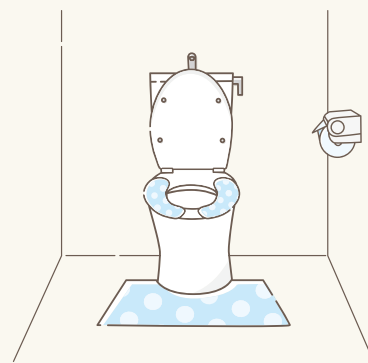
答弁 総務課長

災害時においては、避難所の水、食料、電気、トイレ等の維持管理が最優先課題になると認識しています。

令和5年度より、5年計画で避難場所の機能強化等を実施していると共に、高齢者へ配慮した避難所の利便性の向上を図っているところです。

災害時の仮設トイレにつきましては、避難所のトイレ機能が不能になった場合を想定し万全な対策を自主防災会と共に進めています。稲原防災センターのトイレ改修につきましては、避難所の運営等を地域のご協力を頂きながら維持管理を含め、検討してきたいと考

えています。



質問 能登の災害状況を見て分かった事ですが、建物の損壊がない状態なのに仮設トイレが設置されています。

地震により浄化槽が陥没してしまうという事を認識しなければならぬと思います。

印南町には集落排水のエリアが3ヶ所あるかと思

その点も考慮して頂き、町民が避難生活を安全、安心に過ごせるよう宜しくご検討下さい。

答弁 総務課長

幾つかのご指摘あるいは、ご要望につきましても検討を進めてまいりたいと考えております。



有事の際は避難所となる稲原防災センター

地籍調査について



古川 眞
議員

質問 10月から島田区（紀ノ郷）の地籍調査を開始すると聞きました。紀ノ郷は別荘が多く、町外の所有者が多数いると聞いています。紀ノ郷に隣接している土地も未調査になっているため地元民が心配しています。質問します。紀ノ郷関係で町外所有者は何筆ありますか。

質問 町外所有者への連絡はどのようにしましたか。

答弁 建設課長

まず、法務局にある登記簿の所有者氏名・住所を基に戸籍謄本や住民票等を市町村に請求します。

所有者が転出している場合は、転出先の市町村に再度、戸籍謄本を請求します。

答弁 建設課長

今年度の調査面積は0.68㎢、調査する小字は橘谷、瀧谷、中ノ谷、滝ノ岡の一部、六ツ松の一部で、紀ノ郷別荘地は字 滝ノ岡と六ツ松の一部に含まれています。

今年度の調査筆数は1089筆で、町外所有者の筆数は701筆です。

答弁 建設課長

紀ノ郷別荘地の立会いは9月25日から開始する予定ですが、現時点で何%参加するかは分かりません。

9月3日付で土地所有者や相続人に現地立会いの案内を送付したところ、現在までに日程の確認、遠方や高齢のため委任状を提出したいなど多くの連絡が寄せられています。

これまで行ってきた他の地区の調査と比べると、地元地区委員が委任を受けて、代理人による立会いが多くなっていると思います。

質問 当日立会いできない方に対して、後日、対応することはありますか。

答弁 建設課長

今回の調査区域に町外所有者が多いことから、日程

を変更してほしいという問合せも多く寄せられています。

日程を変更すると、同日に隣接する方と立会いができなくなりませんが、先に隣接者が境界を確認しておき、立会いができない方には、後日、境界杭を確認していただくといった形を取りながら、柔軟に対応していきます。

質問 参加できない所有者から「委任状」が提出されることはありますか。

答弁 建設課長

現地立会いの案内文を送付するときは、必ず所有者による立会いをしていただくか、代理人への委任をお願いしています。

総務産建常任委員会報告

◎木村 栄一 玉置 克彦 片山 智文
◎谷 章資 岡本 庄三 堀口 晴生

◎委員長
◎副委員長

総務産建常任委員会では、閉会中の継続調査として「防災について」を調査するために、能登半島地震の災害派遣された職員から災害派遣活動報告を受けました。

【日時】

令和6年8月20日(火)

印南町では、総務課職員1名、企画産業課職員3名、住民福祉課職員1名、建設課職員1名、生活環境課職員1名の合計7名の職員が派遣されました。

派遣された職員は、リエゾン業務（連絡調整員）や、避難所運営支援業務、住家被害認定調査業務、公費解体受付支援業務、り災証明

発行支援業務と各種業務に従事しました。

リエゾン業務では、能登町の災害対応に関する情報の和歌山県危機管理局への報告、和歌山県の避難所支援要員の受け入れ、案内、後方支援業務を行いました。避難所運営支援業務では、避難所での食事の配膳や、各支援物資毎の仕分け等を行いました。

避難所では、避難者もストレスが溜まっており、ささいなことでトラブルになりやすい印象があり、職員は聞き役に徹するのが必要と感じたとのことでした。

文教厚生常任委員会報告

◎中島 洋 黒井 美晴 杉谷 考祥
◎古川 眞 榎本 一平 前田 憲男

◎委員長
◎副委員長

文教厚生常任委員会では、閉会中の継続調査として「一般廃棄物の処理について」を調査するために、生活環境課長から町内のごみ処理についての説明を受けた後、御坊広域清掃センターを視察しました。

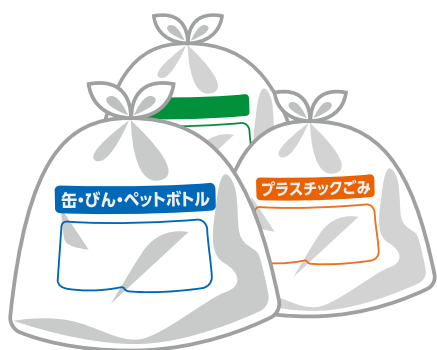
【日時】

令和6年8月7日(水)

御坊広域清掃センターを訪問し、令和2年10月に工事が始まり、この春に完成した、マテリアルリサイクル推進施設整備及びごみ焼却施設基幹的設備改良工事の完成後の施設の視察を行いました。

マテリアルリサイクル推

進施設を建設し、廃プラスチックごみを、製紙工場のボイラー燃料に資源化する目的で加工しており、廃プラリサイクル率の向上に資する事業やごみ処理施設の基幹的な整備を改良し、二酸化炭素削減対策など環境に、より優しいごみ処理に努めていることを確認しました。



広報特別委員会研修に参加



開催日時 令和6年9月25日
開催場所 東京ニッショーホール

読むよりも見れば分かる
広報の発行。
ゴミ箱直行阻止！



前田委員長

今後の議会広報の運営に
生かしたいと思っています。



谷委員

文字数が多いと読む気を
減衰させます。
短い文で意思を伝える文書を
心がけます。



古川委員

読む人の視点で
興味をもつて頂ける議会だよりを
作りたいと思います。



片山副委員長

読みやすくするためには
文字のダイエットが必要。



中島委員

活字を減らす・写真で伝える
工夫にて、更なる魅力ある
「議会だより」に努めます。



黒井委員

委員長所見

コロナ禍もあって、4年
目にして初めて研修会に参
加しました。

3時間目の講義では、「読
まれない議会だよりに出す
意味なし」、この言葉をス
ローガンに、約10年かけて
広報誌の改革に取り組み、
全国で高い評価を得ている
埼玉県寄居町の女性広報委
員長の講義でした。

コンクールに入賞し続け
ることで議会も締めまり、町
の声も多く寄せられるとの
ことでした。

今回の研修で委員の議会
だよりに対する意識も少し
変わったのではないかと感
じております。

議会広報特別委員会

■ 委員長 前田 憲男 ■ 副委員長 片山 智文
■ 委員 黒井 美晴 / 谷 章資 / 中島 洋 / 古川 眞